株式会社モリコー

カラーPOD機の導入により納期短縮化と“特別な一冊”を求める個人客ニーズへの対応を実現

導入の狙い

- 小ロット印刷へのより低コストな対応の実現
- 短納期を求める顧客ニーズへの対応

導入システム

- カラーPOD印刷機
  『RICOH Pro C900』
- カラー複合機
  『RICOH imagio MP C5001』
  『RICOH imagio MP C5000』
- モノクロ広幅複合機
  『RICOH imagio MP W4000A』
  『RICOH imagio MP W2401』

導入効果

- 短納期ニーズへの対応を実現
- 個人客に安価で迅速なサービスを提供
- サンプルを実際に確認することでトラブルを予防

プロの技術によって地域の印刷・製本ニーズに幅広く応える

株式会社モリコーは、コピーや製本などドキュメントに関するあらゆるサービスを手掛け、臨機応変な対応によって地域の顧客から高い評価を得てきた。以前から続く、不動産物件に関する図面や契約書やカタログ、チラシ、会社案内に加え、近年は句集・歌集の印刷・製本など個人客からの依頼も増えてきた。こうしたニーズに応えるべく、同社はカラーPOD(プリントオンデマンド)印刷機を導入。思いどおりの仕上がりを手軽に得られるそのサービスは好評で、口コミによる顧客拡大にも一役買っている。

急増する小ロット印刷のニーズにオンデマンド印刷で対応

株式会社モリコー(以下、モリコー)は、大判コピーや大量出力から、デジタル入力ファイリング、会社案内やカタログ・チラシの印刷・製本サービスまで、ドキュメントに関するすべてに対応するトータルメディアステーションだ。川崎市を舞台に、当初はコピーサービスを中心として事業をスタートし、次第に印刷全般へとそのサービスの範囲を拡大してきた。

「創業当初は、ゼネコンや住宅メーカーから、契約書や図面といった書類一式のコピー・製本のご依頼を頂くことが多かったのですが、最近はカタログや会社案内、取扱説明書といった少部数の印刷・製本案件や、個人のお客様からのご注文が増えてきました。そ

USER PROFILE

株式会社モリコー

- **業種**:印刷業
- **事業内容**:オンデマンド印刷、オフセット印刷、コピー/出力サービス、製本サービス、デジタル入力ファイリングサービス
- **従業員数**:7名(2011年12月現在)

カラーPOD機導入により短納期と低コスト化を実現した株式会社モリコー

2011年12月取材

こで当社でも、オンデマンド印刷サービスに力を入れるべく、検討を重ねてきたのです」と、同社の森 敏明氏は語る。

PCやプリンタの普及により、個人でもさまざまな印刷物を手軽に作れるようになってきたが、仕上がりの美しさという点から見れば、やはりプロの技術に比肩しうるものではない。また多部数を印刷・製本する手間を考えても、地域の印刷 会社に求められるものはまだまだ多い。

だが、インクを紙に転写するための版を作って、専用の機械で刷る従来のオフセット印刷は、仕上がりが綺麗である反面、その手間ゆえにある程度の製作時間とコストが必要になる。一方、展示会用カタログを始めとする少部数の印刷物は、短納期が求められるケースが少なくない。また個人客からの依頼の場合、印刷・製本コストが安価であることが強く求められる。そのため、オフセット印刷では、小ロット印刷への対応は難しいのが現実だったと森氏は語る。

しかし製版・刷版の工程がなく、PCからデータを直接送って印刷するオンデマンド印刷は、納期とコストの両面で有利であるうえ、必要に応じて1部からでも気軽に印刷することが可能だ。顧客ニーズに確実に応えていくべく、モリコーでは2010年6月、カラーPOD機の導入に踏み切った。

価格帯、納期ともにサービス向上 評判が口コミでも広まるように

同社は以前から、『RICOH imagio MP C5001』『RICOH imagio MP W4000A』といったリコー製複合機を利用してきた。カラーPOD機導入に当たっては、その導入・運用サポートを通して信頼を置く大塚商会に相談し、機種を選定することになった。

その結果採用されたのは、同じくリコー製のカラーPOD機『RICOH Pro C900』。最高で1分当たり90ページのモノクロ／フルカラー高精細プリントが行え、A5～A3ノビまでの用紙サイズ、60～300g/mまでの用紙厚に幅広く対応。さらに、モノクロとカラーが混在する印刷物ではページを自動的に振り分けて、それぞれの単価を適用するため、ランニングコストを抑えやすいという特徴も備えている。

「導入してあらためて実感したのが、カラーPOD機が持つスピード感ですね。お客様が少部数の印刷物をご注文になるときは、『至急に』という依頼が大部分を占めているのですが、カラーPOD機のそうした特長を活かすことで、導入後は、当日の朝、メールでデータを送っていただければ、その日の夕方には納品、ということも可能になりました」と森氏は語る。

さらにコスト面の効果も大きかった。オフセット印刷の場合、自作の句集・詩集や子供や孫が描いた絵画集といったパーソナルな本を10～100部程度作るという案件の場合、その料金は注文に二の足を踏ませる金額になることが現実だった。だがオンデマンド印刷であれば、個人客でも利用しやすい料金で小回りの利くサービスを提供することが可能だ。従来から同社が提供している、原画や写真のスキャンサービスや、原稿の文字入力サービスと組み合わせることで、PC操作に不慣れな顧客であっても手軽に、クオリティの高い印

森 敏明氏

「大塚商会さんには10年以上前から、機械の導入やアフターフォローでお世話になっています。当社が導入したカラーPOD機の活用度をさらに高めていけるよう、他社様の利用例や、新たなご提案などをお聞かせいただけると嬉しいですね」

個人客からの依頼では、元原稿を受け取り、入力・編集・デザインから印刷・製本までを一貫して行うことも多い

刷物としての“自分だけの一冊”を注文できるようになったのだ。

「コピーサービスのお見積りにいらした際などに、当社がご提供するオンデマンド印刷サービスのメリットを知ったお客様が、口コミでその内容を広めてくださることもあるようです」と言う森氏。仕事の幅もこれまで以上に広がり、導入のメリットは大きかったという。

満足度の高い仕上がりを迅速に提供して、効率を高める

近年はWordやPDFによるデータ入稿が増えており、データを一から作成する手間は減ってきた。だが、それは一方でレイアウトの再現性や、色味の違いなど、新たなトラブルをもたらす要因にもなっている。

特に色味の調整は、使用しているモニタやプリンタの設定やその特性に左右される部分が大きいため、単に出力しただけでは顧客の満足が得られないことが少なくない。

「ご自身でデータを作成したお客様の場合、出力紙をご覧になって、『画面上の色と違う』を感じられる方も多いはずです。そんな場合も、オンデマンド印刷ならその場ですぐ、サンプルを1枚出力して、実物を見ながら相談できます。そのためお客様の希望にも近づけやすいですし、私どもの仕事も早く終わるので助かっています」と森氏は語る。オフセット印刷とオンデマンド印刷の仕上がり品質には異なる特性があるが、それぞれの性格をわきまえたうえで、出力紙を元に打ち合わせすることで、多くのトラブルは避けられると説明する。

思いどおりの印刷結果を得るためには、カラーマネジメントやチューニングの維持が欠かせない。『RICOH Pro C900』は以前から使用してきた複合機と同じメーカーの製品であり、設定や調整のノウハウが引き継ぎやすかったという点も選択のポイントになった。

『RICOH Pro C900』の導入で、ポスターによく使われるようなアート紙やコート紙への印刷、これまでならオフセット印刷に頼らざるを得なかったA3ノビにも、これ1台で対応することができるようになった。

「今まで使っていた小さな機械では通せなかったA3ノビやコート紙などの用紙も、こちらなら出力できますし、位置合わせの精度も高いですね」と森氏は高く評価する。

加えて『RICOH Pro C900』では、ステープルやパンチ、中綴じフィニッシャーなどのオプション装置により、仕上げ加工もスピーディーに行えるため、カタログやパンフレットなどページものの依頼や、納品スピードを求められる案件にも対応しやすくなった。

モリコーではこれらの各種機器と、長年にわたり蓄積してきた印刷分野のノウハウを活用して、今後はPOP類の作成や年賀状印刷など、さらに小回りの利いたサービスを提供していく考えだ。

株式会社モリコーのホームページ
http://www.moricoh.net/

・会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。
・事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものであり、配付される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。
・この記載内容は2012年1月現在のものです。

Copyright©2012 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.